

## サロンでの気づき

サロンを訪問させて頂き、気づかせていただいたこと、お聞かせいただいたことなどをお伝えさせていただきます。何かお役に立てれば嬉しいです。

山陰地方の方を困らせた大雪も一段落ついたかと思えば、また、大雪に逆戻り。困ったものですが、自然には逆らえませんが、私も雪深い新潟に八年住んでおりましたので、雪のある生活には苦労しましたが、長い長い暗い冬が終わり、目にまばゆいばかりの光を感じたとき、太陽のありがたさ、春の訪れに胸を躍らせたことを思い出します。瀬戸内海の温暖な地域に住んでいる人には感じる事ができない感動だと思います。

それで、私は春が大好きになりました。人は明るいところが好きなんだと思います。



話はかわって、中学、高校の頃、胸がときめき、食べずにしまっておいたことを思い出すバレンタインデー。今は、もちろん義理チョコですが、プレゼントをいただくのってうれしいですね。(お返しが大変なんです) チョコレート好きの私にとっては2倍うれしいです。

■さて、今月のたにぐちだより、まずはサロンオーナー様の話を紹介させていただきます。

### ・何で来るんだろう。来る理由があるか？

「お客様が何で、また、来ないんだろう」と、スタッフは良く言うけど、僕(オーナー)は「お客様が何で、また、来るんだろう」と、考えます。これが大切だと思うんです。サロンに入られたお客様は、途中で逃げ出すことは出来ませんが、サロンから出られたお客様が戻って来られる保証は何もありません。会話が楽しかった、何となく感じが良かっただけでは、リピートにつながらないと思います。お客様がこの店に戻ってこようと思う何かはなくてはならないと思います。それは、美容師として、当たり前のことですが、「私の髪のことをどこよりも大切に思ってくれる、扱ってくれる」と、髪のことでの店の良さ、違いを感じていただかなくては戻って来られないと思います。

あるお客様が「いろんなお店に行ったけど、ここに落ち着いたのは、過去に行ったお店は、最初は、髪について一つ一つ親切に説明して、丁寧に扱ってくれるのに、回を重ねて親しくなってくると髪のことを話さなくなるから、嫌なんです。でも、このお店は、親しくなっても、いつも髪の話はちゃんと話してくれるから好きなんです」と言ってくれました。



### ・同じことを何度も言う

「同じお客様に同じことを毎回、言い続けることが大切です。それに、お客様は、何度も何度もお伝えしてはじめて覚えてくれます。」

### ・薬剤や器具を売ってはだめ、人(自分)を売る

薬剤や器具を導入した時に、「この薬剤は髪が傷まないんですよ。この器具を使うと髪が傷まないんですよ。」と、薬剤や器具を売っては、お客様はリピートしません。

一人一人のお客様を見て「お客様の髪をキレイにするためにこの器具をこのように使いますね。お客様の髪をキレイにするために、この薬剤をこのように使いますね。」と、お客様をキレイにしている人(自分)を売らなければお客様はリピートしないと思います。

以上、サロンオーナー様の話を紹介させていただきましたが、提供する側は回を重ねるとだんだん気が緩んできますが、反対にお客様はもっとも期待されます。いつも新鮮な気持ちと初心を忘れず取り組んでいきたいものです。

### ■集中！

サッカーアジアカップの解説をされた松木安太郎さん、「ふざけたロスタイムですね〜」「ミスキックでも、入ればいいんですよ！」など、解説者と思えない解説で人気を博しましたが、その中でも私は「集中！集中！」という言葉が焼きついていました。

力が少し足りなくても、集中して、自分の持っている100%の力を出し切れば大抵のことはできると思います。

### ■最後に最近、反省したことをお伝えします。

- ・出来ないことを人のせいにははいけない。自分でできること、やることはいくらでもある。
- ・争いはどちらも損をします。
- ・色眼鏡で人を見ない。
- ・足るを知る。人を妬まない。

さあ、3月もお客様に集中して頑張ってください！

## ■プロの条件

先日、致知出版社の今井専務様が、来社された時に二冊の本をプレゼントしていただきました。その中の一冊「プロの条件」の中から、第1章のプロの条件をご紹介します。字も少なく、ページも少ないですが、エッセンスが凝縮されている素晴らしい本です。おすすめします。

プロの条件 目次
第1章 プロの条件
第2章 熱意・誠意・創意
第3章 信念の力
第4章 自らに勝つ者は強し
第5章 人生をひらく



藤尾 秀昭=文  
武田 双雲=書

### 第一章 プロの条件

職業のジャンルを問わない。

仕事をする事によって報酬を得ている人は、そのことによって、すでにプロである。また、プロでなければならぬ。

しかし、現実には

プロとしての仕事の仕方をしていない人が相当数いることも事実である。

プロとアマとの違いは何だろうか。

それは次の四つに集約されるのではないか。

第一は、プロは「自分で高い目標を立てられる人」ということである。

自分なりにほどほどにやればいい、この程度でいいだろうと、

目標をできるだけ低く設定しようとするのがアマである。

プロは違う。

プロは自分で高い目標を立て、

その目標に責任を持って挑戦して、こうとする意欲を持っている。

第二は、「約束を守る」ということだ。

約束を守るといふのは、成果を出すということである。自分に与えられた報酬にふさわしい成果をきつちりと出せる人、それがプロである。

成果を出せなくてもなんの痛痒も感じず、

やれなかった弁解を繰り返してやり過る、

アマの典型である。

第三は、「準備をする」。

プロは「絶対に成功する」という責任を自分に課している。

絶対に成功するためには徹底して準備をする。

準備に準備を重ねる。自分を鍛えに鍛える。

そうして勝負の場に臨むから、

プロは成功するのである。

アマは準備らしい準備をほとんどせず、

まあ、うまくいけば勝てるだろうと、

安易な気持ちで勝負に臨む。

この差が勝敗の差になって表れてくるのである。

表現を変えれば、

プロは寝てもさめても考えている人である。

起きていて時間だけではない、

寝ても夢の中にまで出てくる。

それがプロである。

少しは考えるが、

すぐに他のことに気をとられて忘れてしまうのが、

アマの通弊である。

第四は、これこそプロとアマを分ける決定要因である。

プロになるためには欠かせない絶対必要条件だと言える。

それは

プロは「進んで代償を支払おう」という気持ちを持っている「」

ということだ。

プロであるためには高い能力が不可欠である。

その高い能力を獲得するためには、

時間とお金と努力を惜しまない。

犠牲をいとわない。代償を悔いない。

それがプロである。

犠牲をけちり代償を渋り、

自己投資を怠る人は、

絶対にプロになれることは自明の理であろう。

# 努

最後に一流といわれるプロに共通した条件をあげる。

それは

「神は努力する者に必ず報いる、と心から信じている」

ということである。

不平や不満は

それにふさわしい現実しか呼び寄せないことを知り、

感謝と報恩の心で生きようとする、

それが「一流プロ」に共通した条件であることを付言

しておきたい。

さて、あなたはこれらの条件を満たしているだろうか、

満たすべく努力をしているだろうか。

# 3月のヘアケアドバイス

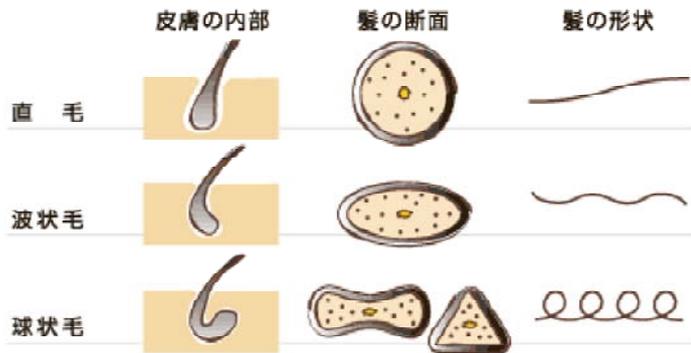
## ★クセ毛の対策

お客様の365日、いつも素敵なヘアスタイルを楽しんでいただくためには、素材を美しくすることが土台となります。ご参考にいただければ幸いです。

髪のお悩みを伺っていると、「クセ毛だから、まとまらないんです」と言う方が多いのに驚きます。ストレートパーマをかけて対処する方、反対に何もしないであきらめている方、人によって対応はさまざまのようです。今回は、クセ毛のメカニズムとその対処法をご紹介します。

### ■“クセ毛”ってどういうこと？

クセ毛とは、専門用語で「波状毛(はじょうもう)」と言います。波打つようにうねった状態を指します。さらにクセが強い、ちぢれ毛は「球状毛(きゅうじょうもう)」もしくは「縮毛(しゆくもう)」と言います。波状毛も球状毛も、毛包が弧状になっていて、毛球部が曲がっています。毛球部の曲がり方が強いほど、クセ(波状)が強くなります。



毛包の曲がり方と毛髪の関係

クセ毛になる原因には、先天的なものと後天的なものがあります。先天的とは、いわゆる遺伝や民族によるもので、日本人の毛髪は92%が直毛と言われています。後天的とは、間違ったヘアケアによるもの、ヘアサロンでの施術時の損傷などがあげられます。日本人のほとんどが先天的には直毛、ということ考えると、あなたが悩んでいる「クセ毛」の原因は、後天的なものである可能性もあるかもしれません。

円形脱毛症が治った時や、思春期以降、部分的にクセ毛になるケースも見られます。円形脱毛症の場合は、頭皮の下の結合組織が影響を受け、毛球部が少し曲がるのが原因のひとつです。思春期以降にクセ毛になる場合は、女性ホルモンによる影響が大きいとされています。これらも後天的なものと言えます。

また、クセ毛の方は、毛髪に負担を与え過ぎていることが多いようです。まっすぐにしようと、定期的にストレートパーマや縮毛矯正を繰り返す方が多いからです。さらにクセ毛は細いところと太いところがあって波打っているため、曲がっている部分がブラッシングの摩擦を受けてキューティクルがめくれあがり、損傷毛(ダメージヘア)になりやすいのです。ですから、特に注意をはらってヘアケアしていただきたいと思います。

### ■直毛よりも気を付けたい！ クセ毛のケア

クセ毛はダメージを受けやすいため、直毛の方よりも普段のヘアケアに気を付けてください。

#### ●ブラッシングはとにかく摩擦に気を付ける！

クセ毛のケアは、とにかく摩擦を最小限に抑えることが大切です。特にブラッシングの際は、ブラッシングローションを使い、摩擦から髪を守ってください。クセが強い方は、摩擦しやすい目のつまったブラシより、くしを使うと良いでしょう。まずは毛先をほぐしてから、ブラッシング、コーミングしてください。

#### ●ブローでダメージヘアが進行しないように！

定期的にストレートパーマをかける方は、おそらく髪がダメージを受けています。ドライヤーの熱でダメージヘアが進行しないよう、髪にブローローションなどをつけ、熱から守るようにしてください。

#### ●ヒートコンディショナー…ストレートパーマをされた方



200ml 1,890円  
400ml 3,150円

仕上げ時に使用することで毛髪のダメージを修復しながら、滑り感やツルツル感を向上させます。縮毛矯正をされている方に特におすすめです。

使用量により(軽くてサラサラ)〜(しっとり)までの質感調整が思いのまま。

#### ●グラマラスカール ストレート



UVカット力強化

しっとりとした感触のストレートを創ります。

150ml 1,575円  
400ml 3,150円

髪のダメージを修復(ヒートプロテイン&尿素)してナチュラルでさらさらストレートを作るローション。ブローやストレートアイロンの前に使うとセットとトリートメントが同時に出来ちゃちゃすぐれもの。寝グセ直しにも使えます。セットしながらヘアケアを。

ドライヤーは必ず髪から20cmぐらい離し、同じところに長時間あてないよう、気を付けましょう。

●トリートメントを念入りに

クセ毛は、曲がっている部分のキューティクルがはがれやすい状態になっています。ですから、ヘアクリームやトリートメントなどで髪に皮膜を作ってあげましょう。保湿してあげると、髪が落ち着き、クセが目立ちにくくなります。

●ナカノ デスヒナストレート ポリウムダウン  
ポリウムアップ

クセ毛を扱いやすく、スタイリングしやすい髪にし、ストレートパーマの効果を保ち、美しく洗い上げます。  
アミノ酸、加水分解ハトムギ種子、セラチンPPT、シルクPPTが毛髪内部を補修します。また、ヒートアクティブPPTをヘア内部に浸透させることでストレートパーマの持続性とクセのおさまりを向上させます。



シャンプー	リペアメント
300ml 2,100円	250g 2,520円
800ml 3,990円	670g 5,460円
1500ml 6,300円	1500g 8,925円

●ナカノ グラマラスカール クリームエッセンス  
(洗い流さないトリートメント)



100g  
2,100円

●頭皮を健康にする

クセ毛は髪の毛自体に問題があるわけではなく、毛包が曲がっていることが大きな原因です。毛包の中の毛髪はぶよぶよとやわらかいため、曲がった毛包が鋳型となって、扁平や三角の形の毛髪がクセ毛となって、毛穴から押し出されてしまうのです。

頭皮をやわらかく健康に保つことで、曲がった毛包がまっすぐに戻り、クセが弱まることもあります。頭皮のマッサージなどで、やわらかい頭皮になるよう心がけましょう。また、栄養が毛母細胞に行き渡らないことが原因で、髪の毛が細くなり、クセ毛のようになってしまうこともあります。バランスの良い食事を摂ることも、頭皮のために必要なことなのです。過度なダイエットで髪までやせ細らないよう、気を付けましょう。

女性のためのその1…使いやすい

ディスペンサー付きなので力のない女性でも簡単につけることができます。頭皮にしっかりとつけることができます。

女性のためのその2…疲れがとれる

頭と心が爽やかに疲れがとれます。頭皮はメントールで爽やか心はカモミールの香りで爽やかに。

女性のためのその3…育毛剤にみえない

女性の方が気軽に使っていただきやすいように軽いデザインにしました。どこにでも置いておけます。

毎日つけるのが楽しくなる



当店からディスペンサーをプレゼントさせていただきます！

女性のための育毛剤  
医薬部外品  
薬用フレグラ150ml 2,940円

※1回に軽く20プッシュで約50日ご使用頂けます。

■ウソ？ ホント？ クセ毛にまつわるエトセトラ

Q.大人になってクセが強くなったような気がするのですが…  
…こんなことってありますか？

A.はい、あります。女性ホルモンの影響を受けたり、まちがったヘアケアを行ったり、気づかないうちに円形脱毛症になったりすることで、毛包が曲がってしまうことがあります。毛包が曲がると、出てくる髪の毛のクセが強くなってしまいます。

Q.私は生まれた時にちぢれ毛だったため、赤ちゃんの時、丸坊主にされたそうです。「髪を剃るとちぢれ毛が治る」と周りの人に言われた、とのことですが……ホントですか？

A.効果が「ある」とも「ない」とも言えません。赤ちゃんの頭皮はやわらかく、安定していません。そのため毛包が曲がり、ちぢれ毛が出てしまったことも考えられます。ですから、髪を剃った影響かどうかはわかりません。

Q.クセ毛は遺伝する、とよく聞きます。父も母もクセ毛なので、私もクセ毛になってしまったのでしょうか。

A.はい、クセ毛は遺伝します。両親がクセ毛だと、ほぼ100%子どももクセ毛になる、といわれています。毛包の曲がり方が遺伝するため、その結果、クセ毛になるようです。

Q.ストレートパーマは、通常のパーマより髪が傷むのでしょうか？

A.以前はダメージが大きかったのですが、技術の進歩によってダメージは少なくなりました。昔のストレートパーマは、髪にパーマ液をつけて、アクリル板にはりつける、という方法が主流でした。

そのため、アクリル板の重みで髪が切れるなど、損傷がひどかったようです。

現在は、コームでとかす方法が一般的なもので、ダメージは少なくなりました。



ストレートパーマによるダメージ。うろこ状のキューティクルがはがれています  
※佐藤吉昭 監修『ヘア・サイエンス』(日本毛髪科学協会 2005年改定第4版)より引用

また、ストレートパーマをかけた後も出てくる髪はクセ毛ですから、定期的にストレートパーマを繰り返すことになります。

そのため、ダメージヘアが目立ち、「ストレートパーマは髪によくない」というイメージがついたのかもしれない。

とはいえ、通常のパーマと同じように髪にダメージを与えますので、1か月に1回以下にし、同時にカラーリングするのは避けましょう。

クセ毛は直毛よりもデリケート。やさしくケアしてあげてください。

(allabout japanより)